

2013年6月議会 補正予算案への反対討論(7月2日) さはしあこ議員

不要・不急なエンターテイメント事業ばかり 市民の暮らしをかえりみない提案は認められない

7月2日の市議会本会議で市長の提案したエンターテイメント盛りだくさんの補正予算案に対する討論・採決が行われ、さはし議員が反対討論を行いました。その概要を紹介します。



天守閣木造再建は、今やることか

さはし議員はまず、名古屋城天守閣の木造復元の課題を調査することについて問題点を指摘しました。

市長が言う本物の天守閣を再建するための調査は、これまでも進められており、ヒノキの調達やバリアフリーにならない問題、火災や地震にたいする安全性などの課題がクリアされていません。今回の調査には、現在の天守閣が有する博物館機能についての検討が予定されていますが、木造で復元した場合には、天守閣内に展示スペースを設けることができず、代替措置を講じても博物館機能の低下は避けられません。約18年に及ぶとされる復元工事中には、入場者数が減少することも危惧されます。

さはし議員は「現在の天守閣は、今後50年ほどの耐用年数があり、これを取り壊して約400億円もかかる木造復元を急ぐ必要はなく、木造復元を前提にした調査は、必要性も緊急性もない」ときっぱり批判しました。

特別史跡名古屋城跡全体整備計画にかかる想定スケジュール

区分	年度										
	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33~	
本丸御殿の復元	→										
玄関・表書院等	→										
対面所等	→										
上洛殿等											
二之丸庭園の保存整備	→										
名勝区域	→										
名勝区域外											
西南隅櫓の修復	→										
旧二之丸東二之門の修復	→										
カヤの保全	→										
石垣の修復	→										
本丸搦手馬出区域	→										
その他区域											
本丸御殿障壁画の修復	→										

なぜ名古屋が鉄道の聖地なのか

さらに、鉄道を活用した都市魅力向上策を検討する調査費についても指摘。

鉄道を活用した都市魅力向上の調査にもかかわらず「あおなみ線でのSLの定期走行」が大前提であり、実現性に極めて疑問がある事業を、他の事業より優先して調査する必要はありません。採算性や実現性に関する調査は、本来、鉄道運送事業者が行うべきものです。さはし議員は「名古屋市は、残念ながら車社会であり、名古屋市が鉄道の聖地とすべき歴史的必然性は見いだせない。将来に向けての都市の魅力につながる可能性が高いLRTなどの新型交通システム等の検討もこの調査に入っていない」ことを明らかにし、「都市魅力の向上につながる調査費とはいいいがたい」ときっぱり。

鉄道を活用した都市魅力向上策検討調査(1000万円)

項目	内容	
基本コンセプトの整理	先行事例の研究	他都市での事例研究
	観光資源化に関する検討	運行事業者や鉄道専門家など有識者からの意見聴取、観光資源化に関するコンセプト作り
施策の実現性の検討	蒸気機関車を始めとする話題性のある車両の活用方法に関する検討	保存車両調査、復元関連調査、展示方法検討 鉄道博物館の構想検討
		走行路線・運行形態に係る検討
	費用対効果、経済効果の想定	事業採算性や経済波及効果に係る検討
	市民意向の把握	シンポジウム、アンケート等による意見聴取

大企業中心のまちづくりをすすめる中京都構想

そのうえで、中京独立戦略本部の運営費について、「中京都構想は、大企業中心の企業誘致や巨大インフラ整備などの促進を目指すものであり、その司令塔である中京独立戦略本部の運営への支出は認められない」と河村市長の提案に反対し、市民の暮らしを優先した市政に改めるよう求めました。

採決の結果は日本共産党以外のすべての議員の賛成で可決されました。